

## 4. 山武市の農業の強み・弱み、可能性・脅威

これまでに整理した情報を踏まえて、山武市の農業の強み・弱みを整理するとともに、今後、山武市の農業にプラスに働く可能性がある事柄（可能性）や、マイナスに働く可能性がある事柄（脅威）を整理しました。

### (1) 強み

#### ●力強い個人経営体の存在

山武市の基幹産業である農業を支えているのは、数多くの個人経営体です。一つひとつの経営体は、規模は小さくても農業に対する愛着と誇りを持ち、農業に降りかかる逆境に向かいながらも、創意工夫を持って対応する力強さを持っています。

近年、農業経営体の数が減少傾向にある中、農業生産額を微減にとどめているのは、残された農業経営体の経営努力の結果であると考えられます。

#### ●安定した生産力・品質

県下6位（令和4年度）の農業生産額を有する山武市の農業においては、その安定した生産力や、市場に認められる品質の良さが強みです。

#### ●消費地、市場への近さ

山武市は都心に近いことから、都市近郊農業としての優位性の高さが山武市の農業の強みとなっています。

#### ●生産物の多様性

多様な農産物を生産できる農業形態は、消費者や食品産業からのニーズへの対応のしやすさや、災害や気候変動、病害虫被害等などの様々なリスクを低減・分散できる可能性があります。

### (2) 弱み

#### ●統一的な対応の難しさ

山武市の農業の多様性の裏返しになりますが、地域特性や生産する農作物の状況に応じてきめ細やかな対応が求められます。

### ●競合先の多さによるブランディングの難しさ

米や野菜などの普段の食生活に身近な農作物を生産しているのが山武市の特徴ですが、それゆえに競合相手が多く、山武市としての独自性を出すことが難しい状況です。

### ●基盤状況の悪さ

丘陵部の畠を中心に条件不利地が多く、経営の規模拡大や効率化などを進めることが難しい状況があります。

### ●農業者と非農業者等との意識的な距離

(1) の1つめの「●」で触れたように、農業者は農業に対する愛着と誇りが高い一方、農業者から農地を受け継ぐ相続者は、農業の継続や農地の管理を負担に思うことも少なくありません。また、山武市では、非農業者が増えることでかつての農村的なつながりが薄らぐ傾向も見られます。

## (3) 可能性

### ●食料生産基地としての潜在力

世界的に食料安全保障の必要性が求められる中、食生活に欠かせない農作物を多く生産する山武市への期待は高まると予測されます。また、成田空港に近いといった地の利も活かせば、海外への市場開拓の可能性は大きいと見込みます。

### ●暮らしとの近さ（風景、食卓）

山武市特有の田園景観をつくる山武市の農業は、常に市民の生活のそばにあります。そして、食生活に欠かせない農作物を多く生産するという観点から私たちの暮らしに近い存在であります。いつも身边にある山武市の農業の良さや必要性に気づいてもらうことで、山武市の農業の存在価値を高めていける可能性があります。

### ●関連産業の資源としての潜在力

近年における余暇の拡大と、余暇を自然の中で過ごすなど安らぎを自然に求める傾向が今後も続くものと予想されます。そのため、自然資源などを活用した田んぼの学校などの体験農業や観光農園など、都市と農村の交流を深める取組の需要の増加が期待されます。

すでに、体験農業等は山武市の観光の主要な資源となっていますが、近年の動向も踏まえ、観光等の関連産業の資源としての農業の可能性を追求することで、山武市の産業振興につなげられる可能性があります。

## ●海、山などの自然環境の近さ

近年では、農業の多様な資源を活用した農山漁村発イノベーションを促進する動きが起きています。一方で、山武市には海、山などの多様な自然環境があります。農業と合わせたこうした自然環境と結び付けたまちづくりを展開することで、山武市の魅力と活力を高められる可能性があります。

## (4) 脅威

### ●人口減少・高齢化や厳しい農業経営

人口減少や高齢化の進行や厳しい農業経営の状況は、これまで述べてきたように、担い手の減少や労働力及び営農意欲の低下などを引き起こし、地域の農業の衰退を誘発します。そしてそれだけではなく、農業者が蓄積した経験・技術、農業が生み出す風土・文化等の損失など、山武市がもつ無形の財産を失うおそれがあります。

### ●気候変動や災害、鳥獣害等のリスクの増大

山武市は温暖な海洋性気候のもとで農業を開拓してきましたが、昨今の異常気象により、従来栽培してきた農作物が栽培できない事態が発生するおそれがあります。また、水害等の災害リスクが高まる中、農作物への甚大な被害が発生することも懸念されます。また、近年では、イノシシ等の野生鳥獣の生息域の拡大やスクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）等の外来生物等の被害も多発しており、今後もこうしたリスクが山武市の農業を襲う可能性があります。